

東陽病院だより

昨年、東陽病院のスタッフによる乳腺・甲状腺集団検診が行われ、結果は次のとおりでした。

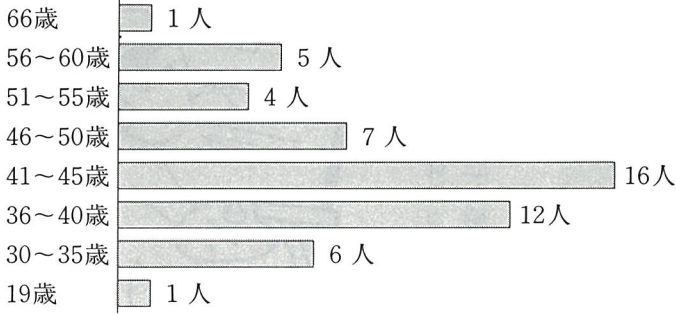
総人口 一一、八四六人
女性人口 六、〇五五人

検診対象者(三十歳以上の女性) 三、〇五一

受診者数 三九九人(受診率13・1パーセント)

要精検者 要精検率 精検受診者
乳腺52人 13・0% 40人
甲状腺28人 7・0% 22人

要精検者年齢分布 (乳腺40人)



細胞診検査 (顕微鏡)

異常者はありませんでした。

乳腺精検内容

診断	症例数
乳腺症	26人 65・0%
両側陥凹乳頭	5人 12・5%
乳汁分泌	3人 7・5%
線維腺腫	2人 5・0%
腫瘍摘出術者	2人 5・0%
摘出術既往者	2人 5・0%
乳癌	0人 0%
精検受診者総数	40人 100%

(東陽病院)

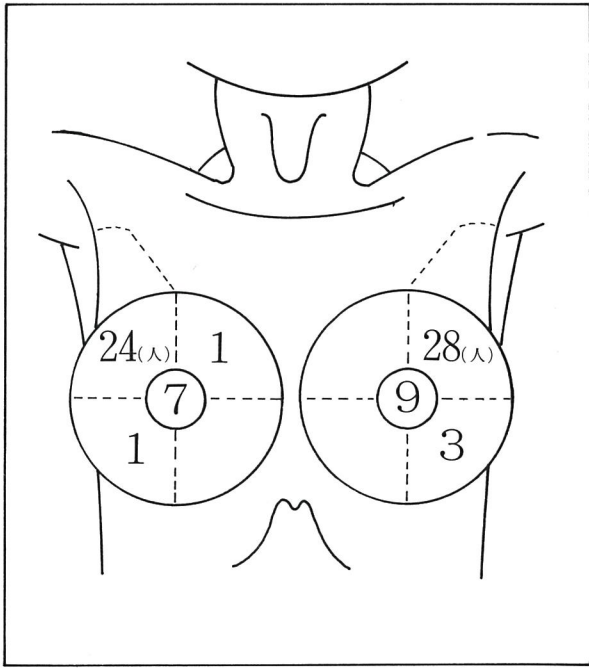
甲状腺精検内容

診断	症例数
甲状腺腫	9人 40・9%
(経過観察)	
結節性甲状腺腫	1人 4・5%
橋本氏病	2人 9・1%
異常なし	10人 45・5%
精検受診者総数	22人 100%

まとめ

受診率は13・1パーセントと一昨年に比べ、倍に増加しているが、対象人口の一割強ではない。

特に癌発見率の高い初回受診者、六十歳以上の高齢者や勤労者の方は必ず検診を受けましょう。年齢別で、四十代の癌好発



年齢者に異常が多く、六十歳以上の受診者が少ない事から、今後高齢者への進んで集団検診を受ける啓蒙が必要とされた。

部位別では図のように、左右上外側領域及び乳頭部異常が多く、乳房自己検診法を特にこの部位に注意して、月に一回はしてください。

今回の検診からは幸いに癌の人はいませんが、癌は非常に増加しております。早期発見早期治療により光町から癌死をなくしましょう。また「異常があつたらすぐ病院へ 異常がなくても検診を受けましょう。」

(東陽病院 前田記)

検察 審査会制度

ご存じですか

検察行政がまちがいになく運営されるよう、検察事務のやり方や、不起訴事件を取り上げその処分結果を審査し、国民の声を反映させて検察の民主化をはかつて、被害者等の正しい権利を保護するのが「検察審査会」の制度です。

○犯人(被疑者)を警察や、検察庁に訴えたが取り上げてくれない、裁判にかけてくれない。

年齢者に異常が多く、六十歳以上の受診者が少ない事から、今後高齢者への進んで集団検診を受ける啓蒙が必要とされた。

部位別では図のように、左右上外側領域及び乳頭部異常が多く、乳房自己検診法を特にこの部位に注意して、月に一回はしてください。

今回の検診からは幸いに癌の人はいませんが、癌は非常に増加しております。早期発見早期治療により光町から癌死をなくしましょう。また「異常があつたらすぐ病院へ 異常がなくても検診を受けましょう。」

(東陽病院 前田記)

○検察官の不起訴処分が納得できない。

このような不満をどこへ訴えたら良いか迷っている方はありませんか。

告訴人や被害者は誰でも無料で簡単に審査の申立が出来ます。泣き寝入りせずにご相談下さい。手紙、電話の問い合わせでも結構です。

連絡先 八日市場市イ二七六〇
千葉地方裁判所八日市場支部構内 八日市場検察審査会事務局
☎ 04797②1300へ

検察審査会のはたらきの図解

